

No. 73

3月定例会

令和5年5月23日発行

やまなし

市議会

だより

目次

定例会の概要	2
市長所信表明	3
議案等審議結果	4~5
議会構成	5
代表質問	6~8
一般質問	9~12
議員定数検討特別委員会	12
委員会報告	13~15
議会活動日誌・編集後記	16

歳入歳出総額 227 億 5,300 万円（新市発足後、最大規模の予算額）とする令和5年度山梨市一般会計予算など 51 案件を可決しました。

「西沢溪谷」山開き・山岳指導所開所式

3月定例会の概要

市長から提案された条例制定、令和4年度一般会計補正予算、令和5年度一般会計予算などの審議を行いました。

議案第3号

山梨市営観光駐車場設置及び管理条例について

スポーツ広場としての用途を廃止する予定の山梨市民三富川浦スポーツ広場の用地を観光来訪者用の駐車場として活用するため、設置管理の規定について、新たに条例を制定しようとするものです。

議案第19号

令和4年度山梨市一般会計補正予算（第10号）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策や不安定な国際情勢に起因する「原油高・物価等高騰」における対策など、国等の要請に基づき取り組んできた事業を含め、決算体制に向けた事業費の見直しによる補正予算です。歳入歳出予算にそれぞれ6億5028万3000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ251億6927万2000円にするものです。昨年末に成立した国の補正予算第2号に関連する事業費の追加として、県営急傾斜地崩壊対策事業経費175万円、畑地帯総合整備事業経費9100万円、リーディングDXスクール事業費125万円、決算体制に向けた事業費の見直しによる追加として、民生費では、障害児支援事業経費1878万円余、障害者自立支援介護等給付事業経費6145万円余、特定教育・保育施設運営事業経費5122万円、活性化事業特別会計繰出金2221万円余などが主なものです。また、来年度以降の公共インフラの整備等においては、重点化した取り組みが求められており、これらを円滑に推進するため、土地開発基金積立金に5億5000万円を積み増しすることとしています。なお、ふるさと納税寄附金額については、今年度予算における最終見込額を34億円とし、1億円追加したところです。

議案第28号

令和5年度山梨市一般会計予算

歳入歳出総額227億5300万円対前年度比12.74%増、金額では25億7100万円の増額となり、新市発足後、最大規模の予算額とするものです。これは、堅調な伸びを示している「ふるさと納税寄附金額」の増額に伴う歳入歳出予算の増や、普通建設事業費を中心とした投資的経費の伸びが大きな要因となっています。主なものとして、歳入のうち、市税収入については、市税全般で対前年度比1.12%増の総額38億5209万円余を見込んでいます。地方交付税は、普通交付税の原資となる主要国税が引き続き増収見込みとなり、対前年度比2.61%増の55億円としています。ふるさと納税寄附金については、ここ数年の決算状況を勘案し、前年度から倍増の30億円を計上しています。なお、地方債については、普通建設事業費の増額に伴い、対前年度比13.35%増の8億910万円余となっていますが、国と地方の赤字折半である臨時財政対策債は大幅な減額となります。歳出では、総務費は、ふるさと納税寄附額の伸びに伴う経費の増額や、DX事業等に対応した整備など、対前年度比12.8%増の総額38億2545万円余、民生費は、障害者に対する自立支援介護等給付費及び私立の保育園・認定こども園等の運営補助金等の伸びが見込まれますが、私立保育園建設補助金の皆減の影響により、対前年度比1.31%減の総額59億704万円余、衛生費は、オンライン訪問診療車購入事業や水道事業会計及び簡易水道事業会計への繰出金等の増額により、対前年度比6.33%増の総額15億3817万円余、農林水産業費は、新規となる畑地帯総合整備事業や、本市が行う土地改良事業経費などが増額となることから、対前年度比9.06%増の総額6億6293万円余、土木費は、国が進める防災・減災、橋梁等長寿命化、耐震化事業費の増額のほか、市道建設改良事業経費、山梨市駅南地域整備事業経費の増額などにより、対前年度比25.09%増の総額20億3479万円余、消防費は、防災行政無線デジタル化更新事業費や、岩手分団機動部話所建設事業費の増額などにより、対前年度比25.54%増の総額9億6397万円、教育費は、指導主事を増員し部活動の地域移行などを進める山梨市教育推進事業費の増額や、学校給食費負担軽減事業を引き続き実施する一方、社会教育費における旧牧丘町総合会館の解体事業の終了などにより、教育費全体では、対前年度比0.4%減の総額16億2541万円余としています。

高木市長の所信表明（3月定例会）

おもな事業の報告

●オンライン訪問診療車整備事業について

本市では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年が目前となる中、市民が安心して住み慣れた場所で生活できるよう、医療と介護の提供体制の整備を進めているところです。特に医療については、「山梨市地域医療戦略」に基づき、市立牧丘病院が訪問診療を積極的に取り組んでおり、現在、年間に延べ5400件の訪問診療を行っています。しかし、現在の体制で、24時間365日、在宅患者に対応する機能強化型在宅診療支援を継続するためには、医師やスタッフの負担が大きく、2024年度からスタートする医師の働き方改革による医師確保も今後の課題になるものと思われまます。こうした状況を踏まえ、本市では、これまで移動診療車を活用したオンライン診療の整備について検討を重ねており、来年度においてこの事業に活用する専用車両の購入に係る予算を今定例会に上程しています。これが実現すれば、患者自らが新たにインターネット環境を整備する必要がなく、また通信機器の利用が苦手な人でもオンライン診療を受けることが可能となります。また、これまでのように医師が自ら車を運転し、在宅療養患者のもとへ出向いて診療を行うことが少な

くなることから、医師と患者相互の負担軽減にも繋がるものと考えています。訪問診療車の整備と活用は、独居老人世帯や中山間地域が多い本市において、市民の医療機関への受診の機会を保障することと合わせ、新たな診療スタイルとして期待できるものと考えています。

●ふるさと納税について

本市のふるさと納税の寄附額は、前年度31億9000万円余であったのに対し、今年度は1月末をもって既に33億円を超えています。寄附額が増えた要因としては、ポータルサイト上において、本市のシャインマスカットが人気の返礼品として検索数の伸びとともに高ランクに位置したことにより、多くの方々の目に留まったことと分析しています。また、宝飾品など、高額な返礼品の取り扱いが増えたことも寄附額を押し上げた要因の一つと考えています。なお、2月28日には、返礼品取り扱い事業者の皆様を対象に説明会を開催し、発送品の一つひとつが本市の顔であるとの意識を改めて認識していただくとともに、今まで以上に丁寧に返礼品を取り扱っていただくようお願いすることとしています。来年度も寄附額を伸ばせるよう、事業者

の皆様のご協力を得る中で、職員が一丸となって取り組んでいきます。

●本市の主要な道路事業について

南口広場から延伸する都市計画道路加納岩小学校西通り線第2期、及び加納岩小学校前通り線の用地取得率については、西通り線が約78%、前通り線は約99%となっており、来年度も引き続き未取得箇所の買収に向け、鋭意努力するとともに、取得済み箇所については順次、電線共同溝工事に着手するなど早期完成を目指していきます。また、都市計画道路加納岩小学校西通り線第2期区間以南、正徳寺下神内川線までの第3期区間については、今年度、詳細設計を実施していますので、令和5年度には用地調査を行い、令和6年度から用地の取得に入っていきたいと考えています。更に、東山梨駅周辺整備事業については、基本構想をもとに、地域関係者と協議を進めていますので、県で整備をしていただく跨線橋計画と整合を図りながら、実施計画の策定に向けて積極的に取り組んでいきます。

令和5年3月定例会議案等審議結果

3月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議案 件名	議員名														審 議 結 果			
		村 田 浩	宮 川 真 有	遠 山 雄 二	萩 原 弥 香	深 沢 敏 彦	糠 信 平	藤 巻 豊 彦	星 野 洋	古 屋 弘 和	三 枝 正 文	武 井 寿 幸	土 屋 裕 紀	矢 崎 和 也	小 野 鈴 枝		飯 島 力 男	岩 崎 友 江	向 山 輝
第1号	専決処分承認を定めることについて（令和4年度山梨市一般会計補正予算（第9号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第2号	山梨市教育委員会組織条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第3号	山梨市営観光駐車場設置及び管理条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第4号	山梨市まちづくり総合計画審議会条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第5号	山梨市職員定数条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第6号	山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第7号	山梨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第8号	山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第9号	山梨市土地開発基金条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第10号	山梨市税条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第11号	山梨市民スポーツ広場設置及び管理条例及び山梨市夜間照明施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第12号	山梨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第13号	山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第14号	山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第15号	山梨市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第16号	山梨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第17号	山梨市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第18号	峡東都市計画事業山梨市駅前土地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第19号	令和4年度山梨市一般会計補正予算（第10号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第20号	令和4年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第21号	令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第22号	令和4年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第23号	令和4年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第24号	令和4年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第25号	令和4年度山梨市水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第26号	令和4年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第27号	令和4年度山梨市下水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第28号	令和5年度山梨市一般会計予算	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第29号	令和5年度山梨市国民健康保険特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第30号	令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第31号	令和5年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第32号	令和5年度山梨市浄化槽事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第33号	令和5年度山梨市介護保険特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第34号	令和5年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

議案番号	議案名	議員名														審議結果		
		村田浩	宮川真有	遠山雄二	萩原弥香	深沢敏彦	糠信平	藤巻豊彦	星野洋	古屋弘和	三枝正文	武井寿幸	土屋裕紀	矢崎和也	小野鈴枝		飯島力男	岩崎友江
第35号	令和5年度山梨市活性化事業特別会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第36号	令和5年度山梨市水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第37号	令和5年度山梨市簡易水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第38号	令和5年度山梨市下水道事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第39号	令和5年度山梨市病院事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第40号	山梨市道の路線認定の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第41号	債権の放棄について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第42号	令和4年度山梨市一般会計補正予算(第11号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第43号	令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第44号	令和4年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第4号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第45号	公平委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第46号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第47号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第48号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第49号	山梨市議会の個人情報保護に関する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
山議案第1号	山梨市議会の個人情報保護に関する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
山議案第2号	山梨市議会委員会条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を国に求める請願	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	不採択

新しい議会構成決まる

令和5年3月定例会において、各委員会の委員の選任等が行われました。各常任委員会、議会運営委員会及び組合議会議員の構成は下表のとおりです。

古屋弘和 向山輝		甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員 土屋裕紀		山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員 三枝正文 矢崎和也		峡東地域広域水道企業団議会議員 深沢敏彦 藤巻豊彦 小野鈴枝 岩崎友江		東山梨行政事務組合議会議員 村田浩 宮川真有 遠山雄二 萩原弥香 星野洋 武井寿幸 小野鈴枝 岩崎友江		組合議会議員 矢崎和也 向山輝		議会運営委員会 小野鈴枝 星野洋 武井寿幸 土屋裕紀		教育民生常任委員会 矢崎和也 向山輝 深沢敏彦 糠信平 三枝正文		建設経済常任委員会 星野洋 萩原弥香 宮川真有 古屋弘和 武井寿幸 小野鈴枝		総務常任委員会 岩崎友江 遠山雄二 木内健司 村田浩 藤巻豊彦 土屋裕紀		委員長 副委員長	
日本共産党	公明党	市民クラブ	尚志会	新翔会		市議会では、所属政党や主義主張を同じくする議員が集まって会派を結成し、活動をしています。山梨市議会では左記の会派等が結成されています。 (○は会派代表者)															
糠信平	木内健司 萩原弥香	村田浩 小野鈴枝 深沢敏彦	向山輝 岩崎友江 星野洋 藤巻豊彦	古屋弘和 武井寿幸 三枝正文 矢崎和也	土屋裕紀 向山輝 遠山雄二 宮川真有																



問 令和5年度当初予算について

①来年度の当初予算額は、本市においても新市発足後で過去最大の予算規模だが、法人市民税では増減額を見込み、個人市民税では増減の見込んでいるが、それぞれ増減の理由について。②予算執行段階での問題点、及び令和6年度以降の予算規模はどうなるのか。

市長 高木晴雄

答 ①法人市民税は本市の課税客体の特徴から、対前年度比9.28%の減額、個人市民税は農家所得も収益が好調なため、対前年度比3.58%の増額を見込んでいる。②予算規模が急激に増額となった場合に懸念される特定財源の歳入が、年度末になることでの資金計画における資金不足の心配はないものと考えている。ま

た、令和6年度以降の規模は5年度と同規模で推移するものと捉えている。

問 岩手地区農道整備について
現在までの経過と今後の計画及びその実行性について。

市長 高木晴雄

答 畑地帯総合整備事業岩手地区第2工区は、当初計画から規模を縮小して事業推進中だが、約6割の農地と道路が未整備で耕作状況の改善はされていない状態にある。令和3年8月には、区長他役員の皆様が要望をいただき、県との調整の中において、本事業の整備計画に取り入れ、事業展開している。また、畑総事業以外の農道整備については、幅員4m・延長約550mを単独事業として段階的に行うこととしている。なお、令和5年度当初予算に、測量設計及び用地調査費として1千万円を計上しており、事業の推進を図っていく。

問 児童・生徒数の減少に向けた本市の特色ある学校づくりについて

減少を見越した上で今後、各学校や地域の特色、市を挙げてのコミュニティ・スクールの取組を生

かした学校づくりに向けて、どのような構想・アイデアをお持ちか。
教育長 嶋崎 修

答 児童・生徒数の減少による学校の在り方では、教育カリキュラムを9年間の通しで構築した義務教育学校の導入やコミュニティ・スクールとしてのメリットを活用した地域密着型学習の構築などの事例がある。多くの事例を参考にし、市が積極的に対応や対策を打ち出し、学校がそこに住む人たちの拠り所となるよう努めていきたい。

問 ふるさと納税事業と返礼品などの取扱について

①返礼品としての評価について。②品質問題等の苦情について。③栽培農家以外の事業者に対する返礼品の管理は。④シャインマスカットの絶対数の確保と滞りない発送ができたのか。⑤取扱事業者上位3社はどこか。⑥経費率、さらに他自治体への流出納税額はいくらか。

地域資源開発課長 平野宗則

答 ①返礼品としてのシャインマスカットは高い評価をいただいている。②配送時の取扱等による玉割れ・劣化等による品質低下があった。③原則、事業者の責任において行うが、今後は積極的に市が関与し、チェック体制を強化していく。④全寄附者へ

無事に発送することができた。⑤上位3社は、「シャインのふるさと万力」、「甲斐国物語」、「エムズギフト」である。⑥約33%が経費率であり、健全な運営状況となっている。流出額は、6800万円余である。今後も、本市の果樹全般の「山梨市ブランド」として認証制度の創設も視野に入れ、自信をもって送ることが出来る返礼品となるよう努めていく。

その他の質問

○本市におけるデジタル推進施策について

○新たな英語教育の推進について
○山梨市立牧丘病院の訪問診療の強化について



▲シャインマスカット



問 令和5年度当初予算を見ず
えた様々な課題について

①今年度1月末での全国からのふるさと納税寄附件数は、何件位になるのか。また、返礼品に係る経費についても伺いたい。②市道加納岩小学校西通り線第3期区間について、市道正徳寺下神内川線まで計画されているが、加納岩小学校西通り線の計画は、ここまでということか伺いたい。③本市の3回にわたる商品券の取り組みは、市民、商店の方々からも歓迎されたと思われる。このような取り組みも踏まえ、コロナ禍での市民生活における経済的状況等をどのように把握されているか伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①今年度1月末での寄
附件数は、24万件余、返

礼品に係る経費については、

9億8900万円余となっている。②市道加納岩小学校西通り線第3期区画は、都市計画道路事業として整備が進められている第2期区間の終点、下神内川2区公会堂西側交差点部を起点とし、市道正徳寺下神内川線に接続する約300mを事業区間としている。これ以南への延伸についての計画は、事業完成後の交通量を勘案する中で検討していく。③国からの地方創生臨時交付金も活用する中で、3回の商品券配布事業を含め、状況に応じた支援策を講じてきたが、コロナ禍に加え、昨年では世界情勢の変化に起因する物価高騰も重なったことで、企業や事業経営者、そして市民生活にも想像を超える経済的負担が生じており、その影響は長期に及ぶことが想定されている。本市では事業経営を継続していただけるよう、運輸関連事業者、施設栽培農業者、福祉施設事業者、各世帯に対する支援金給付事業を実施している。コロナ禍で一度停滞した地域経済や物価高騰による影響は非常に大きく、そうした状況を常に念頭に置きながら、今後も社会情勢を注視し、市民や地域経済を支える事業

経営者の皆様に対して、適時的確な施策を講じていく考えである。

問 山梨市駅南口、日本カーボ
ン(株)山梨工場跡地について

岩手県紫波町が行っている紫波中央駅前都市整備事業「オガールプロジェクト」は、最大の特徴として公民連携のまちづくりを実施しており、本市の駅前活用にとつても大いに参考になる考え方だと思いが、市の所見を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 この場所は駅に隣接し、
約8100坪の広大な土地

であり、交通結節点として利便性が高く、都市機能施設を誘導すべき、付加価値の高い重要なエリアである。今後、地権者の皆様のご理解をいただき、当該土地を取得することができた暁には、有識者や地権者の代表者などによる跡地利用の検討委員会を立ち上げる中で、官民一体となって、まちづくりに成功した岩手県紫波町のオガールプロジェクトや、他の先行する好事例を参考にし、事業展開を図っていく考えである。

問 パートナリシップ制度の検
討状況について

本市でも研究会のような形で取
り組んでほしいと思いがいかがか。

市長 高木晴雄

答 相談体制の更なる強化と
支援のあり方について、市

が設置する様々な協議体において議論を深めるとともに、国や県における機運の高まりと歩調を合わせる中で、「パートナーシップ制度」の導入などについても、より具体的な検討に入りたい。

その他の質問

- ジェンダー平等の取り組みについて
- マイナンバーカードについて
- 複業人材アドバイザーについて
- 結婚相談事業について
- 学校関係について



▲市道加納岩小学校西通り線第2期区間



問 本市人口の将来推計とまちづくり総合計画について

本市人口は社人研（国立社会保険人口問題研究所）の推計値とほぼ同様の減少推移となっており、推計では2030年を前に3万人を割り込み、2040年（17年後）には2万5千人との推計。

①人口減少が続いている現状と、コロナ禍の影響による人口動態を本市の特徴としてどう分析し、将来人口推計をどのように見込んでいくか。②現実的な人口推移と向き合った場合、あるいは社人研の推計どおりの人口減少をたどった場合、本市の都市計画や行政運営、市民生活への影響について本市の見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①人口ビジョン策定後、令和元年までは市の展望か

ら離れ、社人研による推計と近似しているが、その後人口減少対策を最重要課題とし施策推進し、コロナ禍の行動変容などから昨年は推計を428人上回った。今後時代にも即した施策展開を図る。②最も危惧しなければならぬことは市民ニーズと市政運営方針が乖離してしまうこと。実人口の推移に適合した施策を社会情勢の把握や関係施策の検証を踏まえる中で、人口ビジョンを改定し、総合計画及び総合戦略をはじめとする関係計画にて、その方向性を示すことになる。

問 本市の目指す都市構想と都市機能誘導区域（中心市街地）の土地利用について

①本市の目指す都市構想の実現に向け、必要な都市機能あるいは重点を置く都市機能とは何か。②山梨市駅南地域整備事業のうち、日本カーボン跡地について「市が責任をもつて進める」とは、具体的にどのような構想か。③東山梨駅周辺整備について、跨線橋計画と整合を図る基本構想と地域関係者との協議は。また、東山梨駅改修と周辺のまちづくりはどのように進めていくのか。④まずは今あ

る土地利用、旧市役所跡地や2つの駅周辺の具体案と実現性を示し、副次拠点としてのアザレアタウンの役割と方向性を検討すべきと考える。アザレアタウン整備の役割と計画を伺いたい。

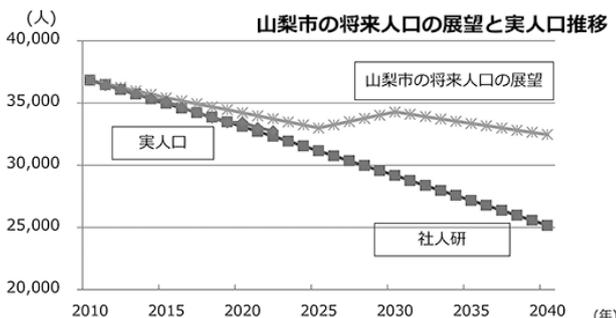
市長 高木晴雄

答 ①市民の日常に必要な医療、教育、商業、高齢者福祉、および商業者施設など、生活の利便機能を集約する。②本市を含む周辺圏域における文化・芸術・教育の発展に資する複合的な「都市機能施設」の誘致がふさわしいと思っている。当該跡地の購入ができた段階で検討委員会を立ち上げ具体的な構想を練っていく。③駅の利用形態を鑑み、新たな駐輪場と乗降場、安全な歩行空間を整備し、利便性の向上を図る。駅の施設改修計画はなく、駅周辺の機能強化以外のまちづくり方針はない。④山梨市駅や市役所周辺の中心拠点を補完する副次拠点に位置付けられ、新たな市街地が形成され市内外からの定住人口の受け皿となることを目指す。今後は地権者の賛同を集めた上で、準備委員会とともに進めていく。

〈その他の質問〉

○来年度一般会計当初予算におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みについて

○ふるさと納税（ふるさと輝き基金）の農業関連施策への活用について
○米国産桃輸入解禁に備えて
○飲食業支援と無尽とのコラボレーションについて
○牧丘・三富地域における市町村設置型合併処理浄化槽の今後の対応について
○古民家活用について
○中学校での制服の在り方と多様化について
○花かけホールの活用推進について



人口推計と実人口 単位：人

	2010年	2015年	2020年	2021年
市人口展望	36,833	35,414	34,217	33,971
実人口	36,832	35,141	33,435	33,019
社人研推計	36,833	34,961	33,104	32,712

▲「山梨市まちづくり総合計画」より

一般質問



鎌信 平 議員

日本共産党

問 カーブミラー設置のための予算について

①設置要望について、現在、年間でおおよそ何件程度あるか伺いたい。②今回上程された予算案の中で、設置に使用できる金額はどのくらいか伺いたい。③設置への今後の対応について伺いたい。

建設課長 鶴田圭司

答 ①今年度の新規設置要望数は16件で近年増加傾向にある。②カーブミラーを含む安全施設の設定工費は、260万円を予算計上している。③カーブミラーは、市民の安全に直接関わる大変重要な道路付属物であるため、要望された場所や危険と判断された現地を確認し、緊急性の高い箇所から順次設置していく。

問 国民健康保険税について

①国民健康保険税の「均等割」の認識について伺いたい。②「多子世帯に対する国民健康保険税の減免制度」導入に関しての考えを伺いたい。

市民課長 古屋はるみ

答

①均等割額は、受益者である個々の被保険者が負担する応益負担の原則により賦課されるもので、国民健康保険税は、世帯の総所得に対して賦課する応能分と被保険者の人数や世帯に対し賦課する応益分を合算して算定される。なお、低所得世帯に対しては、均等割・平等割額に係る軽減制度があり、さらに令和5年度以降、部分的に軽減判定所得基準額が引上げられ、低所得世帯に対する配慮措置がとられている。②「多子世帯に対する国民健康保険税の減免制度」導入に関しては、国、県の動向を注視し、近隣他市町村の情報収集しつつ、先進事例等を参考に研究していく。

＜その他の質問＞

- 治安維持法について
- 所得制限なしの子育て支援について
- 水道料金について



▲カーブミラー



萩原弥香 議員

公明党

問 LGBT等性的マイノリティへの理解促進について

渋谷区・世田谷区が先駆け「パートナーシップ制度」を導入したのは2015年11月。本市議会でもLGBTへの理解を深めることを促し、「本市でもこの制度導入を」と提案したのは、令和元年12月議会である。本年1月時点で255自治体が制度導入へと進み、全国総人口4割以上のカバーである。

①国の動向を注視するのは勿論だが、本市でも令和3年12月請願を採択している。その後の経過と取組みを伺いたい。②本市に速やかに「パートナーシップ制度」導入を要望するが、見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①本市では庁内検討会議を開催し、啓発方法や制度創設に向けた検討を深めてきた。当事者への横断的な支援体制を講じ、直接窓口を福祉課に設置し、相談体制強化を図っている。具体的案件はないが、市民が個人として尊重され、多様性を認め合う社

会を目指し、理解し合える啓発活動等を強化していきたい。②現在、夫婦に準ずる共同生活を送りながらも、そのことを対外的に証明する手段がなく生きづらさを抱えている方々の立場を考えると、本制度は、現状課題を軽減・解消する手段のひとつであり、市民にとっても必要不可欠なものとして認識している。今般の国や県における機運の高まりと歩調を合わせ、本市も具体的な検討に入っていきたい。

＜その他の質問＞

- 今後のコロナワクチン接種体制について
- DXへの取組みについて
- 新年度の子育て支援について
- 関係金融機関との公金収納等におけるデジタル化について





遠山雄二 議員

新翔会

問 山梨県笛吹川フルーツ公園の今後の活用方法について

①若者に人気のアーバンスポーツを設置し、スポーツパーク構想として取り組むことが出来ないか。また、駅からランドカークを往復させ将来的にはロープウェイ等でフルーツ公園・ほつたらかし温泉までを結ぶ構想で、ダイナミックな景観を創り出しては如何か。さらに、駅利用者へのアクセス改善の計画があれば伺いたい。②新たな観光地づくり」としてフルーツ公園を生かした地域全体の活性化や観光振興につなげるための連携など、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①公園を所管する県による自主事業としての提案については総合的に勘案したうえで判断することである。また、駅利用者のアクセス改善として、シャトルバスの共同運行やデマンド型乗合タクシーの導入についても検討する計画となっている。②県や

近隣自治体、「やまなしフルーツパークパートナーズ」等と広域的な観光連携を図り、国内外に向けた効果的なプロモーションを実施していく。

問 中心市街地の跡地等を活用したまちづくりの展開について

①旧市役所跡地について、イベント開催や新たに飲食及び雑貨などを展開したい市民に向け屋台村等として整備出来ないか。②市内の商業施設等の空き事業用地について行政としての対応など伺いたい。

地域資源開発課長 平野宗則

答 ①令和5年度に策定する基本構想の中で、まずは、市民にとって利用しやすく賑わいが感じられる広場のゾーニングを検討し、先進地等の事例を参考に研究する。②「空き工場・空き事業用地バンク」制度の周知を行いながら、有効活用を進めていきたい。

その他の質問

○山梨市駅南地域の水路改修について



(画像提供 泉陽興業株式会社)



深沢敏彦 議員

市民クラブ

問 旧市役所跡地活用検討委員会の報告について

①当局は、「報告を尊重し、まずは短期での跡地活用を進め、山梨市駅南開発とアザレアタウンの整備状況を見ながら、中・長期的な跡地活用を検討する」との理解でよいか。②旧情報通信センターの有効利用について。

市長 高木晴雄

答 ①報告内容を尊重し、来年度に基本構想を策定し、「多目的な利用をイメージした広場」を中核とした活用を進める。山梨市駅南地域やアザレアタウンの事業など周辺開発と連携し、賑わいや交流を創出する場として活性化に繋げていく。②現在、コンピュータのサーバーについては、旧情報センターで運用を行っているが、サーバーを現庁舎等に移転することで、有効かつ効率的な管理ができると考えている。サーバー移転後は庁内で協議し、市民ニーズに沿った整備を進める。

①県内で計画が認定されているのは、本市を含めて4市という理解でよいのか、また全国ではどのくらいの自治体があるのか伺いたい。②旧堀之内小学校で所蔵している埋蔵文化財の数、また、県立博物館等に展示貸出し中の文化財があるか伺いたい。③「フィールドミュージアムセンター整備」の具体案について。

問 山梨市文化財保存活用地域計画の認定について

①認定自治体数は、県内では96自治体である。②発掘調査により出土し、整理作業が終了している28遺跡分の約一万点である。なお、現在、他所に貸し出しているものはない。③当整備については、整備基本計画を令和8年度までに作成する予定であり、設置場所等は、利便性と費用対効果を勘案して検討を進める。

生涯学習課長 角田弘樹

答 ①認定自治体数は、県内では96自治体である。②発掘調査により出土し、整理作業が終了している28遺跡分の約一万点である。なお、現在、他所に貸し出しているものはない。③当整備については、整備基本計画を令和8年度までに作成する予定であり、設置場所等は、利便性と費用対効果を勘案して検討を進める。

その他の質問

○市役所職員のメンタルヘルス対策について



▲旧情報通信センター

一般質問



藤巻豊彦 議員

尚志会

問 山梨市駅南地域整備事業の今後の事業計画について

都市計画道路加納岩小学校西通り線第2期、及び加納岩小学校前通り線の用地取得率について、西通り線が約78%、前通り線が約99%と順調に進んでいるとの説明があり、山梨市駅南地域整備事業の完成に向けて順調に事業が進捗していると理解している。

①駅南の一部地域において、現状の用途地域では住宅以外の土地利用が制限されており、店舗などの立地が難しいとのことだが、都市計画道路加納岩小学校西通り線、及び加納岩小学校前通り線整備後の周辺の土地利用方針については、どのような考えか伺いたい。

②市道加納岩小学校西通り線第3期区間の事業の概要と今後のスケジュール、及び第3期区間以南の大野地内までの道路の延伸計画はあるか伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①駅南地域は中心拠点都市機能誘導区域に位置付



▲駅南口から西通り線

けられていることから、街路整備に合わせて、用途変更する必要がある。令和5年度で用途地域見直し業務委託事業を実施し、計画的な見直しを行う。②第3期区間は下神内川2区公会堂西側交差点部を起点とし、市道正徳寺下神内川線に接続する延長約300mで、標準幅員13m、内左右歩道部2.5mの構成である。令和5年度用地測量等を行い、令和6年度に用地取得、令和7年度から工事着手し令和10年度末の完成を目指していく。大野地内までの延伸計画は、事業完成後の交通量等を勘案して検討していく。

その他の質問

○新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響による事業者への経営支援策について



岩崎友江 議員

尚志会

問 山梨市ふるさと納税について

①ふるさと納税の取扱事業者は何件か。扱う返礼品の数と取扱品目数について。②令和4年度に返礼品の苦情が寄せられた件数と原因について。③苦情への事業者の対応は。

市長 高木晴雄

答 ①ふるさと納税の返礼品取扱事業者は2月末で98事業者。返礼品は1,430品。取扱い品目は56品目。②苦情の件数は120件あり、原因として、事業者による梱包方法や常温での配送、配送時の取扱い、返礼品の品質の低下によるものであった。③内容を確認し、ポータルサイト運営会社と協議の上、返礼品を再発送した。また、来年度からは果樹返礼品は原則「冷蔵配送」とする。

問 市設置型合併処理浄化槽の今後の維持管理について

①公営企業会計に移行の理由。②無償譲渡後の各家庭と清掃業者との契約後は個人負担となるが、

その後の市の対応は。③山梨市浄化槽事業審議会の答申だけでなく、三富地区全戸に意向調査の実施は必要である。

下水道課長 根津昭彦

答 ①国から自治体に要請があり、人口減少や施設の老朽化に対応し、所有する資産・経営状況の把握や経営基盤の強化を行うことにより持続可能な経営を確保するためである。②各家庭は清掃業者との締結、個人負担をしていただくが、譲渡後は適正な管理が行えるよう市でも支援策を考えていく。③無償譲渡をご理解いただけるよう説明会を実施し、意向調査等の必要性も検討する。

その他の質問

○新型コロナウイルス陽性妊婦の分娩対応について
○根津記念館の運営体制変更について



▲合併処理浄化槽

一般質問



宮川真有 議員

新翔会

問 学校教育課の行う「With」と福祉課の行う「山梨市子ども学習生活支援事業」の連携について

①利用する層が重なる場合もあると思うが、情報の共有などは行われているのか。②今後、この2つの事業を連携することは検討されるのか。

福祉課長 大沢和洋

答 ①複数の関係課の担当者で構成する「庁内指導支援担当者会議」において、個人情報保護の保護に留意しながら情報共有し、連携した支援を実施している。②両事業は目的や対象が異なり、事業内容にはそれぞれ特徴がある。それぞれの強みを生かす中で効果的に目的が果たせるよう、実務にあたる担当者の話し合いの場を設け事業推進を図っていく。

問 乙女鉱山跡地の今後と過去の活用策について

産業遺産として国内でも高い価値を持つ「乙女鉱山跡地」について、今年度で、県との土地使用許

可の更新は行わず、市の管理ではなくなることとなった。

①乙女鉱山跡地は、歴史的にも次世代に継承すべき遺産と考えられるが、県と本市は今後どのようなビジョンを具体的に描かれているのか。②過去に推進協議会の開催を具体的に進めていたにも関わらず、何故、協議会も開かれなかった状態となってしまったのか、具体的な理由を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①市単独での管理活用は非常に難しいことから、本市としては今後、県と連携する中で、本市に位置する県有財産の維持管理や保護活動などに協力していきたい。②事業の継続性や安全面、費用面など多方面において課題があり、保留となっていたため、推進協議会の発足までに至らなかった。



議員定数検討特別委員会活動報告

当市議会では、今後の議会活動を行う上で議員数の適正化について、調査・検討の必要があると判断し、議員定数検討特別委員会を設置し、協議を重ねて参りました。令和3年9月から4回にわたり協議を重ねてきた結果、「現状の定数で良い」とする意見が多数を占めたことにより、現状の定数を維持し、市民の代表として良識と責任感を持って議員活動を実施していく方針としました。

《議員定数検討特別委員会 活動記録》

日付	内容
令和3年9月17日	議員定数検討特別委員会正副委員長の互選について
令和4年2月17日	議員定数の検討について
令和4年5月23日	人口規模から見る議員定数の検討 議員定数・報酬額について
令和5年3月23日	議員定数に関する調査結果について

《主な意見》

現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体と比較しても現状の定数でバランスが良い。 ・定数を削減しても議員の質の向上を担保することはできない。
削減	<ul style="list-style-type: none"> ・経費面からも定数削減に賛成。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの意見も必要。 ・議員のなり手不足などから、報酬についても議論が必要。

委員会報告

総務常任委員会

付託議案

議案第4号	山梨市まちづくり総合計画審議会条例等の一部を改正する条例について
議案第5号	山梨市職員定数条例の一部を改正する条例について
議案第6号	山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第7号	山梨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第9号	山梨市土地開発基金条例の一部を改正する条例について
議案第10号	山梨市税条例等の一部を改正する条例について
議案第12号	山梨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第13号	山梨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第17号	山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について
議案第28号	山梨市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
議案第29号	令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分
議案第30号	令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算
議案第31号	令和5年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算
請願第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を国に求める請願

総務常任委員会

◎岩崎 友江 ○遠山 雄二
木内 健司 村田 浩
藤巻 豊彦 土屋 裕紀

○「議案第28号 令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分について」

問 歳入16款財産収入、2項財産売却収入について、今後も活用の見込みがない未利用市有地の売却計画はあるのか伺いたい。

答 本年度についても、未利用市有地の売却を計画し、広報等において広く周知したが、購入希望者はなかった。来年度についても売却可能な未利用地については、売却を進めていきたい。

問 歳出2款総務費、1項総務管理費のうち、放送・公会堂施設関係経費について、公会堂等の補修補助は予算ベースの中での手上げ方式なのか。また、当該年度で対応できなかった要望は翌年度以降も継続されるのか伺いたい。

答 公会堂等の補修補助については、各区からの要望を

ベースに緊急度を見ながら翌年度の予算を組んでいる。対応できなかった要望については、順次、継続して対応することとしている。

問 歳出9款消防費、1項消防費のうち、消防施設整備事業経費について、消防詰所設計については、以前、標準的パッケージで同じものを作ることにより、コストダウンを図るという方針であったと思うが、今もそのような整備方針としているのか。

答 消防詰所設計については、同じパッケージで設計の基本形を何パターンか用意し、その中から選択することで、コストを抑えることができると思うが、現状では、詰所建設用地の面積や形状、部の団員規模、車両の配備数など色々な要因があることから、これに合わせた設計を組んでいるのが現状である。

○「請願第1号 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を国に求める請願について」

各委員に意見を求めたところ、「治安維持法については、当時の政府によって合法的に作られた法律であって、当時は適法であった。その後、法律が廃止されたが、この法律により非常に大変な思いをされた方がいるという事実は理解している。ただし、当時適法であった法律を現在の法律で罰することができないという「法の不遡及の原則」があり、それに照らしていうと、この件を市議会として採択するのは、いささか解釈的にも難しいのではないかと感じられる。また、「犠牲者の実態を調査し、その内容を公表する」ということは非常に難しいのではないかと考え、治安維持法の犠牲者に対してどういった賠償を行うのかも不明確である。また、治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制

定を求めるということであるが、これを市議会の意見として国へ提出することは、解釈的にも困難ではないかと考える。」との意見や、「この件に関しては、地方議会が考えるべき問題ではないのではないか。」などの意見があった。慎重審議を行う中で、採決に至り、採決の結果、採択に賛成者はなく、本委員会としては「不採択すべきもの」と決定した。

※現地調査として、「小原東市有地樹木伐採予定箇所」の視察を行った。



▲小原東市有地樹木伐採予定箇所の視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

議案第3号	山梨市官観光駐
議案第4号	山梨市まちづくり総合計画審議会条例等の一部を改正する条例について
議案第8号	山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
議案第10号	山梨市税条例等の一部を改正する条例について
議案第18号	峡東都市計画事業山梨市駅前土地区画整理事業施行に関する条例について
議案第28号	令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分
議案第32号	令和5年度山梨市浄化槽事業特別会計予算
議案第35号	令和5年度山梨市活性化事業特別会計予算
議案第36号	令和5年度山梨市水道事業会計予算
議案第37号	令和5年度山梨市簡易水道事業会計予算
議案第38号	令和5年度山梨市下水道事業会計予算
議案第40号	山梨市道の路線認定の変更について
議案第41号	債権の放棄について

山梨市官観光駐車場設置及び管理条例について
山梨市まちづくり総合計画審議会条例等の一部を改正する条例について
山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
山梨市税条例等の一部を改正する条例について
峡東都市計画事業山梨市駅前土地区画整理事業施行に関する条例について
令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分
令和5年度山梨市浄化槽事業特別会計予算
令和5年度山梨市活性化事業特別会計予算
令和5年度山梨市水道事業会計予算
令和5年度山梨市簡易水道事業会計予算
令和5年度山梨市下水道事業会計予算
山梨市道の路線認定の変更について
債権の放棄について

建設経済常任委員会

- ◎星野 洋 ○萩原 弥香
- 宮川 真有 古屋 弘和
- 武井 寿幸 小野 鈴枝

に4441万円余、建物等物件補償費に1億9500万円を計上するなど、総額4億6980万円余の事業経費を見込んでいます。

※現地調査として、「万力地内急傾斜地崩壊対策事業箇所」、及び「落合地内団体営土地改良事業箇所」の視察を行った。

○「議案第3号 山梨市官観光駐車場設置及び管理条例について」
問 本条例の制定に係る経緯について詳細を伺いたい。
答 三富地区にある名瀑一之釜について、観光名所として人気が出てきたものの、かねてから観光バス等を駐停車するスペースがなく、対応に苦慮していたところである。そんな中、一之釜に近い川浦スポーツ広場について、近年あまり利用されていないことから、今回、使用用途を変更し、観光駐車場として使用するため、条例を制定しようとするものである。

○「議案第28号 令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分について」
問 歳入17款寄附金、1項寄附金のうち、企業版ふるさと納税について、事業推進の方法を伺いたい。
答 これまで、県人会への資料提供のほか、本市職員にもPRを依頼し、制度の周知や納税寄附の促進に努めてきた。今後は、企業経営者への訪問等も積極的に実施する中で、さらなる制度の周知を図りたいと考えている。また、新たな取り組みとして、企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託費用を計上し、企業の幅広いネットワークを活用する中で、本市のPRやふるさと納税候補先を紹介していただき、事業の推進を図っていききたい。

答 これまで、県人会への資料提供のほか、本市職員にもPRを依頼し、制度の周知や納税寄附の促進に努めてきた。今後は、企業経営者への訪問等も積極的に実施する中で、さらなる制度の周知を図りたいと考えている。また、新たな取り組みとして、企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託費用を計上し、企業の幅広いネットワークを活用する中で、本市のPRやふるさと納税候補先を紹介していただき、事業の推進を図っていききたい。

問 歳出6款農林水産業費、1項農業費のうち、世界農業遺産関連事業経費について、詳細を伺いたい。
答 峡東地域世界農業遺産推進協議会への負担金として800万円を計上している。負担金の内訳は、世界農業遺産フェスティバル開催経費のほか、ワークショップやオンラインツアー、市民向けの体験プログラムなどの実施経費を見込んでいる。

問 8款土木費、2項道路橋梁費のうち、橋梁長寿命化及び耐震化事業経費について、詳細を伺いたい。
答 神徳橋の耐震・耐荷・歩道拡幅事業経費として9100万円を計上しているほか、朝日橋他2橋の補修設計委託経費として3400万円、梨沢橋や新琴川橋、無名橋2橋の耐震長寿命化工事経費として4450万円を計上するなど、総額2億51万円余の事業経費を見込んでいる。

問 8款土木費、4項都市計画費のうち、山梨市駅南地域整備事業経費について、詳細を伺いたい。
答 加納岩小学校西通り線第2期）及び加納岩小学校前通り線の整備費用として、電線共同溝の工事費に2億2400万円を計上しているほか、用地購入費



▲万力地内急傾斜地崩壊対策事業箇所の視察の様子

教育民生常任委員会

付託議案

議案第2号	山梨市教育委員会組織条例について
議案第10号	山梨市税条例等の一部を改正する条例について
議案第11号	山梨市民スポーツ広場設置及び管理条例及び山梨市夜間照明施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について
議案第14号	山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第15号	山梨市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第16号	山梨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第28号	令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分
議案第29号	令和5年度山梨市国民健康保険特別会計予算
議案第30号	令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算
議案第33号	令和5年度山梨市介護保険特別会計予算
議案第34号	令和5年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算
議案第39号	令和5年度山梨市病院事業会計予算

○「議案第28号 令和5年度山梨市一般会計予算関係付託部分について」

問 歳入12款分担金及び負担金、1項負担金のうち、給食費負担金について、給食費の補助について、令和5年度の見通しを伺いたい。

答 令和5年度は、年度当初から1年間、半額の補助を行いたいと考えている。なお、令和4年度は、7月から半額の補助を行っている。

問 歳出3款民生費、1項社会福祉費のうち、老人ホーム事務諸経費について、晴風園の運営について、今後の見通しを伺いたい。

答 晴風園については、指定管理の契約期間が4年残っており、その後について現状で特を決まっているものはないが、施設を運営する中で方向性を検討していきたい。

問 歳出4款衛生費、1項保健衛生費のうち、保健衛生総務管理費について、訪問診療車を導入した場合、普段はどこに待機するものか伺いたい。また、導入した場合の人員配置について伺いたい。

答 訪問診療車については、普段は牧丘病院で待機するものとし、病院の備品としての購入を考えている。人員については、厚生会に一任しているが、運転手と看護師の2名の配置を検討していると聞いている。

問 歳出4款衛生費、1項保健衛生費のうち、山梨市新エネルギー推進経費について、PPA方式による太陽光発電施設の設置について、詳細を伺いたい。

答 PPA方式とは、民間事業者が自らの費用負担で、自治体などの敷地や施設のスペースに、太陽光発電設備を設置・維持管理をして、電気を供給する仕組みで

ある。発電した電気は、自治体が施設で使用し、電気代を負担する。再生可能エネルギーの創出については、太陽光発電が最も現実的な手段の一つと考えており、事業の推進にあたっては、プロポーザルによってより良いものを選定したいと考えている。

○「議案第33号 令和5年度山梨市介護保険特別会計予算について」

問 歳出3款地域支援事業費、2項包括的支援事業・任意事業費のうち、権利擁護事業費について、成年後見制度について、本市の実態を伺いたい。また、市民後見人の人数について伺いたい。

答 法定後見の件数は112件、そのうち、市が申し立てを行う、市長申し立ての件数は、昨年度は11件、今年度は8件あり、身寄りのない方の後見人制度の活用に関係している。また、市民後見



▲山梨市学校給食センターの視察の様子

人については、養成講座を行っており、昨年度は2名、今年度は3名の参加があったが、現時点では実際に選任されている方はいない。

※現地調査として、「山梨市学校給食センター」の視察を行った。

- 教育民生常任委員会**
- ◎矢崎 和也 ○向山 輝
 - 深沢 敏彦 糠信 平
 - 三枝 正文

議会活動日誌

3月

- ・令和5年3月定例会（2月24日～3月24日）
- ・議会運営委員会（6日、7日、14日、23日）
- ・議員全員協議会（6日、7日、14日、23日）
- ・会派代表者会議（7日）
- ・山梨市誕生18周年記念式（22日）
- ・令和4年度山梨市中小企業労務改善協議会「永年勤続優良従業員表彰式」（27日）



4月

- ・山梨市議会事務局職員の発令交付式（3日）
- ・山梨市議会事務局書記の併任・解任発令交付式（3日）
- ・「第28回万葉うたまつりとホタル観賞会」実行委員会総会（10日）
- ・山梨県議会議員選挙当選証書付与式（11日）
- ・第269回山梨県市議会議長会定期総会（14日）
- ・山梨市建設協力会総会（19日）
- ・山梨市少年柔道招待試合（23日）
- ・令和5年度山梨市スポーツ協会総会（24日）
- ・議会運営委員会（25日）
- ・議員全員協議会（25日）
- ・議会だより編集委員会（25日）
- ・第39回巨峰の丘マラソン大会実行委員会（26日）



- ・山梨市民生委員児童委員協議会定期総会（26日）
- ・「西沢溪谷」山開き山岳指導所開所式（29日）

5月

- ・民生委員・児童委員及び主任児童委員委嘱式（11日）
- ・関東市議会議長会 第89回定期総会（25日）
- ・令和5年度春の観光地環境美化活動（30日）

議員活動報告

令和5年4月14日、第269回山梨県市議会議長会定期総会が開催され、木内議長及び村田副議長が出席しました。総会では、令和4年度の事業報告、令和5年度の予算案、役員改選について審議されました。



▲第269回山梨県市議会議長会定期総会の様子

6月定例会開催予定

- 6月1日(木) 本会議（開会）
- 15日(木) 本会議（代表質問）
- 16日(金) 本会議（一般質問）
- 19日(月) 常任委員会
- 20日(火) 常任委員会
- 21日(水) 常任委員会
- 29日(木) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



編集後記

令和5年度を迎え、新たなスタートが切られました。新型コロナウイルス感染症も発生から3年余りが経ちました。今年5月からは、感染症法上の分類が5類に引き下げられ、季節性インフルエンザと同じ位置付けとなりましたが、コロナ感染症が消える訳ではなく、感染症対策は続きます。各自日々の戦いですが、終息に至るまでは、己に負わず、皆さんご自愛下さい。

岩崎 友江

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岩崎 友江 |
| 副委員長 | 矢崎 和也 |
| 委員 | 小野 鈴枝 |
| | 木内 健司 |
| | 村田 浩 |
| | 星野 洋 |